

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 8

令和5年12月25日

西部農林水産振興センター益田農業部

標題	作業量の見える化により新規就農者の早期経営安定をサポート
-----------	-------------------------------------

(ダイジェスト)

益田のぶどうは1経営体当たりの経営規模が大きいため、リタイヤした経営体の園を譲り受けた経験の浅い新規就農者は、作業が重なり管理が不十分になることがあります。そこで、現状の作型で必要な労働力を旬別に示すことで、労力に応じた適切な作型設定など自ら対策を立てることができるよう指導しました。

これにより適期作業が行われ、品質の向上や雇用経費の削減など早期の経営安定につながることを期待しています。

国営開発地を中心に栽培されているぶどうは、1経営体当たりの経営規模が大きいたことが特徴です。このため、生産者は品種と作型の組み合わせで作業を分散させ、大面積での営農を可能にしています。

近年、UI ターン就農者がこうした大面積の既存園を譲り受けて営農を始める事例が多く見られます。この場合、経験の浅さから、品種やハウスごとに必要な作業量を考慮した作型設定になっていないことから、作業が重なることで管理が不十分となり、収量や品質の低下をもたらしていることが問題でした。

そこで、現状の作型で想定される旬別の労働時間表を使い、繁忙期に必要な労力を認識してもらうことで作型を設定し、適期作業による経営改善につなげることにしました。

ある新規就農者は、作業の遅れを取り戻すために必要以上に雇用していました。労働時間表を活用することで、繁忙期の作業ピークの分散とともに人件費などのコスト削減につながることを認識させることができ、自ら対策を立てる機会になりました。

農業部では、労力に応じた作業量の視点で適期の管理を奨め、品質向上と経費削減で、早期経営安定を支援しています。

月	合計	1			12		
		1~10	11~20	21~31	0	1~10	11~20
土壌管理	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
施肥	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
休眠打破	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
整枝・剪定	21.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
被覆・除去、施設整備	31.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
灌水	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新梢管理	18.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
摘房・摘粒	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
GA	19.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
防除	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
除草	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収穫・出荷	67.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
計	201.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	0.0

労働時間表